

(独)酒類総合研究所における日本産酒類の輸出促進に係る主な取組(1)

海外の酒類の専門家や有識者等への啓発

- ・国税庁が主催する、日本酒に関する国外の専門家を養成するためのプログラムに協力し、平成31年1月31日～2月1日に、研究所において講義や官能評価実習を実施。
- ・日本酒造組合中央会が主催する日本酒及び焼酎に関心のある国外の方への講習に協力し、平成31年2月18日～19日に、職員を派遣、講義等を実施。
- ・今年度も関係機関と協力して積極的に実施する。



情報発信ツールの整備 日本産酒類に関する正しい知識や魅力の普及

- ・海外向け情報発信を継続するとともに、今後もニーズに応じ、新たな発信資料を作成。



日本酒ラベルの
用語事典
(改訂予定)

初心者向け
リーフレット

清酒 1・2

焼酎 1

お酒のはなし(英語版)
焼酎2の英語版を作成中

輸出力強化に向けた醸造技術者の育成

- ・平成30年度の酒類醸造講習は清酒コース、短期製麹コース、本格焼酎・泡盛コースに加え、当初の予定に追加してビール短期コースも開催。ブランディングや輸出に関する講義も実施。
- ・今年度は清酒関係のコースの他、ビールコースを実施予定。
(ワインコース関係は(2)を参照)



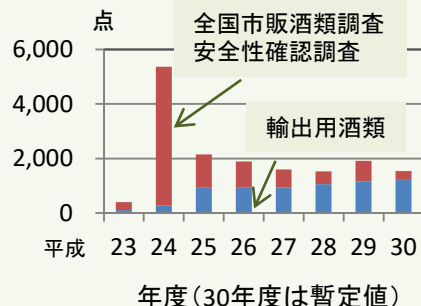
国内外のコンペティション・コンクールへの協力

- ・International Wine Challenge(山形)の清酒部門
- ・International Wine and Spirits Competition(ロンドン)の清酒・焼酎部門
- ・全米日本酒歓評会(ハワイ)
- ・Sake Selection(三重)にも審査員を派遣、今後も積極的に協力する。

諸外国の輸入規制の撤廃に 向けた取組

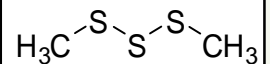
- ・国税庁と連携し、全国市販酒類調査等において、酒類の放射性セシウムの分析を実施。輸出酒類の分析も継続。
- ・今年度も引き続き実施する。

酒類等の放射性Csの分析点数



輸出に適した酒類の研究

- ・民間企業との共同研究により、清酒を長期間保存したときに生じる劣化臭である「老香(ひねか)」を発生させにくい清酒酵母を育種。
- ・他の清酒製造者も購入・使用できるよう、関係者と協議中。



DMTS
(劣化臭の原因
酒類総研が特定)

(独)酒類総合研究所における日本産酒類の輸出促進に係る主な取組(2)

日EU・EPAと日本ワイン関係の取組

EU向け日本ワインの輸出証明に係る業務

- ・EU向け日本ワインの輸出に関する証明書発行業務及び自己証明業務の制度設計及び日本ワイン製造者への説明会を国税庁と協力して実施。
- ・日本ワインの輸出に関する証明書発行の受付を1月21日に開始。製造者の事務及び経費負担を軽減(手数料:27,100円→5,200円)
- ・今後、自己証明を希望する製造者の承認に向けた作業とEUへの通報を予定。

ワイン添加物の安全性及び有効性に関する調査等

- ・EUでワイン製造に使用されている食品添加物について、わが国においても使用できるよう、国税庁と連携し、添加物指定の要請に必要な安全性及び有効性に関する調査等を実施中。
- ※日EU・EPAにおいて、ワイン製造に使える添加物を相互承認するとされたことに基づく。

産業競争力強化に向けた連携促進

- ・酒類総研・地方自治体・大学・民間で得られたワインに関する技術情報の酒造現場における活用促進のためコーディネータを設置。
- ・公設試験指導機関やワイン生産者団体等を対象に「日本ワインに関する酒造技術指導機関情報交換会」を国税庁と共催(平成30年10月)、技術情報の共有や、今後の取組について検討。今年度も開催予定。

- ・ワイン製造の経験の浅い技術者を対象に、ワイン造りに役立つ技術情報を分野ごとにまとめたサイトを開設。今後もコンテンツの充実を計画。

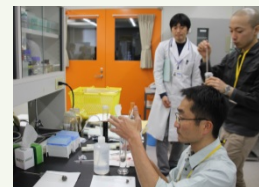
- ・最新の技術情報の共有を目的に、「国際競争力強化 酒類4コンソーシアム合同シンポジウム」を開催。平成31年3月23日@東京大学

- ・ワインの官能評価能力の向上のため、ワインの特徴香や欠点臭に関するサンプル溶液を作成し、業界団体や公設試験指導機関等へ提供。
- ・今後、海外のワイン醸造技術書の翻訳・出版を計画。



醸造技術者の育成・酒類醸造講習

- ・平成30年度は、当初の計画に追加してワイン短期コースを初めて実施。
- ・応募者多数のため、今年度も続けてワイン短期コースを実施、当初計画とあわせ、4年連続でワインの講習を実施する予定(日本ワイナリー協会と共催)。



国内外への情報発信

- ・日本ワインを紹介する「お酒のはなし ワイン2」を英語化、「The Story of Japan Wine」を作成。
- ・GI制度活用促進を目的とした国税局の取組に協力。地理的表示「山梨」ワインシンポジウム2019
- ・フランス・ジャポニズム2018の一環として開催された、ボルドー、La Cité du Vinの甲州ワインのイベント(実施:国税庁、JETRO)に協力。
- ・海外のSake & Wineライターにも技術面から協力。

